AI 江上先生　テクニカルガイド

〜責任者（この場合は古賀）が技術を知らなくても動く仕組み〜

このガイドの目的

このガイドは、**責任者が技術の専門家でなくても**、AI 江上先生を育て、活用するための仕組みを説明するものです。

技術的な作業は「デジタルナビゲーター」に任せ、責任者は**語る側**に集中できます。

全体の流れ（3 ステップ）

STEP 1　資料を集める

STEP 2　AI 江上先生に覚えさせる

STEP 3　実際に活用する

STEP 1　資料を集める（紙をデータに変える）

方法	特徴	誰がやるか
Adobe Scan（無料アプリ）	スマホで紙を撮影するだけで PDF 化	デジタルナビゲーター
複合機のスキャン	役所・包括センターの機材を使う	担当者
Gemini 音声入力	江上さんが話すだけでテキスト化	江上さん + ナビゲーター

注意：個人情報（名前・住所など）は絶対に入れない。支援の知恵だけを抽出。

STEP 2　AI 江上先生に覚えさせる

NotebookLM という無料ツールを使います。

やり方：

1. NotebookLM で新しいノートブックを作成
2. スキャンした PDF や音声テキストを入れる
3. AI 江上先生に「この資料を基に答えて」と指示

育て方：

- 江上さんが「この答えは違う」「こう言い直して」と修正
- 徐々に「江上さんらしい回答」ができるようになる

STEP 3　活用の 3 つの場面

A. AI 思い出サロン（今すぐできる）

- タブレット 1 台 + プロジェクター（あれば）
- 江上さんが話す → AI が答える → 参加者で共有

B. 電話・遠隔相談（今すぐできる）

- 家族や担当者から質問 → ナビゲーターが AI に入力 → 回答を伝える

C. 将来の AI ロボット（1〜2 年後）

- 今蓄積しているデータが、ロボットの「魂」になります。

---

3 人体制（スマホ 1 台で運営可能）

役割	担当者	主な仕事
マスター	江上さん（高齢者本人）	スマホに向かって話すだけ
リスナー	ボランティア・民生委員	相槌を打ちながら話を引き出す
デジタルナビゲーター	学生・若者	技術操作・データ管理

行政にお願いすること

- 会場（公民館など）の提供
- ボランティアの紹介

今すぐ始める 4 つのステップ

1. Adobe Scan（Iphone：プレビュー、android：Google スキャナー）をスマホにインストール
2. デジタルナビゲーター候補者を見つける
3. 資料を NotebookLM に少しずつ入れる
4. 小規模サロンでテスト実施

最後に

技術は難しくありません。

仕組みを理解して、適切な人に任せるだけで動きます。

デジタルナビゲーターを 1 人見つければ、すべてが始まります。

古賀直樹

2026 年 7 月　久留米にて